

公益社団法人私立大学情報教育協会
平成24年度第3回大学情報システム研究委員会議事記録

- I. 日 時：平成25年2月20日(水)午後5時～午後7時
- II. 場 所：私立大学情報教育協会事務局会議室
- III. 参加者：深澤委員長、鈴木委員、山崎委員、藤村委員、浜委員
日本電気、伊藤忠テクノロジーソリューションズ
事務局：井端事務局長、野本

IV. 検討事項

1. クラウド導入効果の検証の報告書とりまとめについて
- ・ 一次調査の結果からは、代表的な効果を項目別に整理すること。使用対象のグラフの軸を100%に合わせることなどの意見があった。
 - ・ 二次調査の結果から以下の意見、検討が行われた。
 - ・ 導入形態での購入はなにか、面積や消費電力の範囲、費用の用途など、まとめる判断基準に利用できるのか不明になっており、背景が必要。
 - ・ セキュリティ対策、導入の検討なども背景とのマッチングが必要ではないか。
 - ・ プライベート、パブリック、大学の内か外かで分ける必要がある。
 - ・ 数字と機能含めて、背景とのマッチングが必要。
 - ・ 参考となる情報提供のために、どういうアピールで主張するのか。考える要素は何と何があるかなど。
 - ・ 困っている情報として、教訓集的な事例にできないか。システムのバージョンでこまったなど、業者的なノウハウ整理できないか。
 - ・ 更新時に現在の技術を採用する場合に、どのポイントが必要か、考える留意点を提示できないか。
 - ・ 何の用途、システムかの背景が必要で、規模別の大学事例集としてまとめられないか。2次回答校から5校選定をして、その大学に事例としてまとめるために追加調査することにした。トラブルや困っていることなどを追加ヒアリングする。
 - ・ クラウドの規模が大きい大学について、別途調査で追加することにした。
2. 大学情報システムのリスクマネジメントの報告とりまとめについて
- ・ リスクマネジメントについては、ICTに限定した地震のリスクを中心に、大学情報システムのリスクと対策についての一般論と地震に対するBCPと緊急復旧計画の実務モデルの提示について資料が提示され、概ねとりまとめについての確認がされた。
 - ・ 記載の内容について、出典の明記をすることになった。
 - ・ 事業継続リスクへの対策で、大学情報システムの復旧について事業継続と緊急復旧計画の概略について記載し、書式モデル「業務分析ワークシート」、「緊急復旧計画」を作成することにした。
 - ・ 震災でのノウハウなどがまとめられないかの意見があり、大学の事例からトピックス的なものを提示することにした。
3. 今後の予定
- ・ 委員会開催については、メールにて調整することにした。
 - ・ 追加調査などから分担して報告書のとりまとめを進めることにした。